

4億2076万円

会計決算

歳入 22億5324万9千円

町税負担額

1人あたり 43,312円
1世帯あたり 165,016円

一般会計

昭和56年度の一般会計と国民健康保険特別会計の決算が12月定例町議会で認定されました。

一般会計の歳入は、22億5324万9千円で前年度に比べ4.4%減り、歳出も21億1005万5千円で前年度より7.2%減って差し引き1億4319万4千円が57年度へ繰り越されました。

また、国民健康保険特別会計の歳入は5億7308万3千円で前年度より18.8%多く、歳出も5億6379万8千円で前年度に比べ17.8%増えて、差し引き928万5千円が57年度へ繰り越されました。

56年度中に行われた主な建設事業

- 県営排水対策特別事業 (西・取立) 1462万円
- 土砂崩壊防止工事 (姥山・長倉) 2030万円
- 農村総合整備モデル事業 2951万円
- 町道新設改良事業 1億592万2千円
- 町道維持補修事業 5095万7千円
- 海洋センター付帯設備工事 2441万5千円
- 共同利用施設建設事業 5651万1千円

● その他	3億4,613万7千円
● 県支出金	1億2,799万7千円
● 国庫支出金	1億7,683万1千円
● 諸収入	2億1,877万8千円
● 町税	6億1,913万9千円
● 地方交付税	7億6,436万7千円

このシリーズ二七(昨年十月)で、長倉の十二社様を紹介したとき「白山様の祠は行方不明になつており、現在は十一基だけである」とおしらせしましたが、その時にいろいろとご指導いただいた吉川義男さんから「白山様が現れました……」と連絡をいただき、早速出かけてみました。

昨年取材に来た時に、随分探してなかつたはずの人面を刻んだ一体の石像(白山様)が、「俺を忘れたのか」といいたげに、こちらをにらんでいたのです。

吉川さんによると「不思議ですね。私が十歳ぐらいまでは確かに建っていました。正月と十月の産土神様のお祭りに出かけ、白山様の異様な人面が怖くて、走る様にして通り抜けた事を覚えていませんから。祖父母から聞いた話では、この面相は天狗様で、齒を丈夫にする神様として部落ではもとより、他町村から泊りがけで日参する人も多かったということです。医療

横芝の碑 めでたくそろつた 長倉の十二社様

(二二〇)

機関も整わなかつたころのことですから。

私も、齒の痛み止めの膏薬を顔に貼った人が、白山様にお詣りしている姿を見かけたことがありません。その後、誰も気が付かないうちにみえなくなつてしまつたのです。それから五十年、毎年草刈りも行われているのですから、わからないなんてことはないと思ふんですが、それが十月のお祭りの時に神社関係者の方々と十二社様の話をしながら眺めていると、近くの草群がかすんでいるように見え、少し小高く感じました。近づいてかき分けてみると、なんと、五十年來姿をかき分けておられた白山様が現れたのです。この時の驚きようといつたら……。とにかく、めでたく十二社様がそろつたのですから、これからは大切に仕守りしましょう」と話し合つたということです。

ちなみに白山様は、石川県と岐阜県の境にそびえる白山火山帯の主峰に、白比咩(しらやまひめ)

50年目 思わぬ出現に…ア然